

あとがき

『古い歴史と、美しい自然に恵まれた、わたしたちの登別』

この社会科副読本「のぼりべつ」で、登別市の良さや、まちを支えている人たちについて学習し、まちの皆さんの思いや願いを感じとりながら学習を深めてください。

令和2年8月1日、わたしたちの住む「登別市」は、町から市になって50年目を迎えます。元号は昭和から平成、そして令和が始まりました。豊かで住みよいまちにするために、たくさんの人々がいろいろな工夫や努力をし、力を合わせて生活してきました。

登別が、いつまでも輝き続ける魅力的なまちになるよう、自分たちの考えを出し合い、将来の夢を話し合ってみましょう。

社会科の学習では、「なぜ」「どうして」と一人一人が課題を持ち、見学や体験学習を通して、友だちと力を合わせて、いっしょに考えながら学びを深めていくことが大切です。

みなさんが、学んだことをもとにして、考える力を身につけ、大人になってからも『ふるさと登別』への思いを持ち続けながら、社会に役立つ人になることを願っています。

最後に、この本の編集にあたられた先生方、取材にご協力いただいた関係機関、多くの関係者の皆様に感謝し、結びといたします。

登別市社会科副読本編集委員会

委員長 中村 完

(登別市立鷺別小学校長)



登別市市制施行50周年記念ロゴマーク



スタディーちゃん